キャラクター名
ガルシア・ジルベール　(ガルシアが苗字)

プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	**Lv.1:**		**レベル**	5
サポートクラス	サムライ	**Lv.1:**	サムライ	**性別**	男
称号クラス				**年齢**	20
種族	ドゥアン			**境遇**	平凡
出自（効果）	狩人			**目標**	友情

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	20	14	10	6	7	12	7
ボーナス	6	4	3	2	2	4	2
クラス修正	2	2	1	0	0	1	0
他修正							
能力値	8	6	4	2	2	5	2

HP	73
MP	49
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	村正	至近	-1	12	0	0	0	0	0
左手									
頭部	グレートヘルム				-1	4			
胴部	アークィバスアーマー				-1	11			-2
補助	ファインポイントアーマー				-1	5			
装身具	金剛の鞘					1			
能力値			6	0	4	0	5	6	13
スキル	ウェポンルーラー		4						
その他						6	3		
総計(右)			9	12	1	27	8	6	11
総計(左)			10	0					
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	2			2	+ 3 d
トラップ解除	6			6	+ 2 d
危険感知	2			2	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
HPポーション	
MPポーション	
使用済み	
過去の装備	
水着	

現在重量：　12		
最大重量：　20	所持金：　21	預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
タフネス	★	-	パッシヴ	-	-	-		
効果：有角族、作成時に筋力基本値+3								
トルネードブラスト	3	6	メジャー	武器	範選	命中	ｼｰﾝ1	
効果：モブエネミー、orCL5以下のエネミーを即死させる								
ウェポンルーラー	3	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：命中判定+4								
カバーリング	1	2	DR直前	至近	単体	-		
効果：行動済みにならずカバー								
スピリット・オブ・サムライ	1	-	アイテム	-	自身	-		
効果：正宗を取得								
プレッシャー	3	6	マイナー	-	自身	-		
効果：ダメージSL*3、威圧付与								
スマッシュ	1	5	マイナー			-		
効果：ダメージ+筋力								
ボルテクスアタック	1		メジャー			-		
効果：ダメージ+CL*10								
アームズマスタリー(刀)	★	-	常時	至近	自身	命中	-	
効果：命中ダイス+1								
カバームーブ	1	4	DR直前	-	単体	-	-	
効果：20m動いてカバー								
オートガード	3	-	常時	-	自身	-	-	
効果：物防+SL*2、魔防+SL*1								
アスレチック	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：登攀、跳躍の判定+1D								
デストロイヤー	1	-	パッシブ		自身			
効果：障害物を破壊する際のダメージロール+2D								
効果：								
効果：								

辺境の街パンダン出身のドゥアンの青年、愛称はジル。
決して鋭いとは言えない直感と、非常に残念なオツムを、圧倒的筋肉で胡麻化して戦うエブリデイ火事場の馬鹿力サムライ
パンダンの街で蔓延している奇病「薔薇吐き病」の治療法を探すために、幼馴染の天才魔導士〇〇(リリカさんPC)と旅をしている。

薔薇吐き病：パンダンの街の風土病とされ、20歳を迎えた町人が一定の割合で発症する。倦怠感と咳、症状の悪化と共に咳こんだ際にピンク色のバラの花びらを吐くようになり、最終的に昏倒して死亡する。原因と治療法は発見されておらず、この数十年での研究でわかったことは「町人にしか罹らない」という事実だけ。

すでにパンダンの街では、薔薇吐き病の治療法確立は絶望視されており、その才能を治療法研究に投じることを望む〇〇は町の魔導士から反対されていた。町のために町を捨てる覚悟を決めた〇〇が19歳の誕生日の夜に一人で旅に出ようとしたところ、たまたまジルベールと鉢合わせ「なんだよ水臭いじゃねーか！一人で楽しい旅に出ようなんてずるいぞ！俺もつれていけ！」と強引に同行したことで二人旅が始まった。

現在旅は2年目に突入し、二人は20歳となった。〇〇は薔薇吐き病の症状が出始めているが、ジルベールを心配させたくないとしてまだジルベールに相談はしていない。